

## 2020年度（公社）日本地すべり学会 事業報告

### 1. 総務部

総務部は、地すべり学会をバックサポートする役割を担っている。コロナ渦の中での総務部の活動は、地すべり学会の機能を最低限維持する内容にとどまった。

#### (1) 行事

##### ① 通常社員総会の開催

- ・日時：2020年6月12日 11時00分～11時40分
- ・場所：TKP 新橋汐留ビジネスセンター（3階）カンファレンスルーム 304
- ・参加者数3名（委任状提出1名、書面議決権提出1名を含む）、委任状提出52名、書面議決提出15名（計68議決権）
- ・今回はコロナ禍中の社員総会であった。出席者の安全と健康を守るため、出席者数を可能な限り減らした。代議員にも、委任状か書面議決書を使い、出席は極力控えるよう依頼した。

##### ② 理事会の開催

- ・2020年5月14日、6月12日、9月15日、11月26日、2021年3月12日
- ・コロナ渦の中のため理事会は、オンラインで行った。

##### ③ 執行部会の運営事務

- ・2020年5月7日、7月3日、8月3日、9月4日、11月13日、2021年2月26日

##### ④ 代議員選挙の運営事務

- ・選挙管理委員会：（第1回）2020年12月26日、（第2回）2020年3月19日
- ・選挙公示：2021年1月12日、投票締め切り：3月12日、開票：3月19日、
- ・開票結果・当選者公示：3月29日
- ・理事会への報告：2021年5月14日

#### (2) 庶務

- ・社員総会、理事会及び執行部会に係る議事資料及び議事録の作成
- ・細則の改訂  
2020年9月15日理事会：職員就業細則（感染症拡大防止対策のために在宅勤務制を導入）

#### (3) 財務

- ・予算執行状況の確認
- ・決算書及び予算書の作成

#### (4) 広報

- ・コロナ渦のなかで活動できなかった。

#### (5) 部会

- ・コロナ渦のなかで活動できなかった。

### 2. 事業計画部

#### (1) 第59回研究発表会の開催

- ・「第59回日本地すべり学会研究発表会講演集」を発刊  
（新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、山梨県甲府市において予定した研究発表

会及び現地見学会の現地開催は中止とした。)

- ・講演数：82 編
- ・研究発表会若手優秀発表賞の審査を実施
- ・受賞者数：10 名

## (2) 部会の開催

- ・日程：2020年4月13日、6月23日、8月18日、10月14日、12月11日、  
2021年2月17日
- ・2021年度シンポジウムの準備  
日程、開催方法、テーマ、話題、進行の検討
- ・第59回研究発表会の準備と総括、第60回研究発表会の準備  
日程、開催方法、予算、運営、講演集、若手優秀発表賞の検討

## 3. 編集出版部

### (1) 日本地すべり学会誌編集委員会

- ①編集委員会の開催 2020年4月～2021年3月まで12回開催(月1回、全てオンライン会議)
- ②日本地すべり学会誌 Vol. 57. 3～6、Vol. 58. 1～2 計6号の発行
- ③特集号の企画・発行
  - ・57(4)特集号「多発する斜面災害の軽減・防災に向けた新技術の活用」  
※57(4)はシンポジウム連携特集号
  - ・57(6)特集号「斜面災害に関係する特殊土の特性」
  - ・58(2)特集号「地すべり分野への3次元情報の活用」
- ④シリーズ等の企画・連載
  - ・シリーズ：「新用語集 地すべりキーワード101」の連載継続
  - ・シリーズ：「地すべり探訪」の連載継続
  - ・賛助会員による「わが社の技術」の継続
- ⑤日本地すべり学会誌電子ジャーナル(J-stage)の刊行
- ⑥投稿規定等の改訂
- ⑦技術報告賞および査読者賞の候補者の推薦
- ⑧投稿規定等の改訂
  - ・文言の統一し、簡潔な文章に修正
  - ・上の修正を英語版にも適用
- ⑨投稿・査読・編集に関する新システム(Editorial Manager)の導入準備

### (2) 出版委員会活動

- ①委員の変更(理事会報告)
- ②委員会の開催(コロナ禍の影響もあり開催できなかった)
- ③出版企画の審査(出版企画の新規申請なし)

## 4. 研究調査部

### (1) 研究助成

- ・2019年度からの継続案件は1件であったため、新規1件を公募した。公募を2回実施したが、

応募者がおらず、今年の新規案件は無しとなった。

(継続)

- ・白馬大雪渓周辺の岩盤斜面の連続モニタリング:(2019~2021年度) 代表 奈良間千之

## (2) 地すべり・土石流災害調査報告会

コロナ禍を鑑み、今年度の報告会は中止とした。オンラインでの開催も検討したのだが、結局中止となった。

## (3) 研究委員会の活動

2020年度は以下の研究委員会活動を実施した。

- ① 斜面動態モニタリングデータに基づく崩壊発生予測研究委員会(代表: 笹原克夫)
- ② 雪氷圏の地すべり研究委員会(代表: 岡本隆)
- ③ 地震時地すべり研究委員会(代表: 土井一生)
- ④ すべり面および移動体の物質科学・構造研究委員会(代表: 中村真也)
- ⑤ 地すべり地形判読の先端的な技術伝承手法の開発研究委員会(代表: 佐藤剛)
- ⑥ 地すべりブロックの設定に関する研究委員会(代表: 林一成)

また次年度以降の活動に向けて、上記①②③④の新たな委員の追加公募を行った。

## (4) 研究調査部会

実施しなかった。

## (5) メール審議

- ・研究助成継続課題の継続審議(2020年4月17日)
- ・災害調査報告会の実施について(2020年8月5日)
- ・研究委員会新規テーマ公募と委員会委員の追加公募(2021年2月4日)

## 5. 国際部

### (1) 2020年度会議

コロナ感染症まん延の防止のため、メール稟議または遠隔会議とした。

- ① 第1回会議 2020年7月2日(メール稟議)
  - ・新体制と部員名簿の確認
  - ・今後の国際部の活動方針に関する意見募集
- ② 第2回会議 2020年8月12日(遠隔会議:7名出席)
  - ・国際学術会議に関すること
  - ・国際交流に関すること
  - ・学会誌への国際関連情報の提供に関すること
  - ・関係委員会との協力に関すること
- ③ 第3回会議 2020年1月25日(遠隔会議:9名出席)
  - ・2021年度事業計画及び予算案に関すること
  - ・学会誌の国際部ニュースに関すること

### (2) 活動内容

- ① 地すべり学会がこれまで国際交流の覚書を締結した事例を調べるとともに、ベトナム ITST との覚書が現在も有効であることを確認した。
- ② 2020年8月25日、会長名でベトナム ITST 所長へ会長就任の挨拶状を郵送するとともに、国

際交流の今後の継続への理解へ謝意を示した。

- ③ 学会誌の国際地すべりニュース等に Landslides 誌の図表を転載するにあたって、ICL からの支援のもと、学会から包括的な許可の確認を出版社 (Springer) に求める (2020 年 9 月 27 日) とともに、その確認を得た (2020 年 11 月 21 日)。
- ④ 部員の輪番による定期的な国際部ニュース投稿を学会誌 2021 年 1 月号から着手した。
- ⑤ 2021 年に延期された WLF5 訪日研究者に対する学術講演の遠隔開催の可能性を検討した。

(3) その他の継続審議課題の検討

- ・新たな国際会議の企画、運営支援の可能性
- ・SATREPS に関連したシンポジウムの企画の可能性
- ・日本地すべり学会の出版物の ICL 経由の宣伝の可能性
- ・「斜面防災技術国際化委員会」との連携

## 6. 表彰委員会

(1) 学会賞 (論文賞・技術報告賞・査読者賞・研究奨励賞・谷口賞・国際賞・その他の賞) の審査表彰委員会にて審議

- ・論文賞：該当無し
- ・技術報告賞：西井 稜子 氏 (新潟大学 研究推進機構 超域大学院、正会員)
- ・査読者賞：山崎 孝成 氏 (国土防災技術株式会社、正会員)
- ・研究奨励賞：該当なし
- ・谷口賞：該当なし
- ・国際賞：本委員会からの推薦を来年に延期
- ・学会活動貢献賞：本委員会からの推薦を来年に延期

(2) 理事会へ表彰委員会の審議結果を報告し審議：2020 年 5 月 14 日

(3) 研究発表会の表彰式で表彰状授与：コロナ禍で講演集の発刊のみとなったため、来年に延期

(4) 2021 年度の候補募集

- ・会員向けメール、学会誌 (Vol. 57, No. 6)、及び学会ホームページで推薦公募締め切り：2021 年 3 月 1 日

## 7. 解説委員会

災害発生時の緊急マスコミ対応や一般市民からの問合せなど、以下の案件に対応した。

案件	日付	依頼元	内容	主対応者
地すべり等の前兆現象	2020/7/8	日本農業新聞	①地すべりやがけ崩れの前兆現象について ②各地域で土砂災害が発生する降雨量について ③地すべりやがけ崩れが発生しやすい場所の特徴について ④降雨と地すべり・がけ崩れの時間差について (降雨後何日まで注意する必要があるか) ⑤学会として地すべり・がけ崩れに関する提言などを出したことがあるか。 ⑥学会 HP に掲載されているがけ崩れの前兆現象の図を使	榎田充哉

			用して良いか。	
土砂災害 警戒区域	2020/ 11/12	一般市民	オリーブ栽培を計画していた農園から土石流災害の警戒区域だとして県の許可が下りなかったとして、その判断根拠や判断の正当性等について問い合わせがあり対応。	榎田充哉
地震 地すべりの写真	2020/ 12/2	株式会社 アルバ	小中学生向けの防災図書を企画している。 地震地すべりの例として、中越地震の高解像度の写真が欲しい。	鈴木英則

## 8. ICL 委員会

- (1) 委員会 2020年6月16日 学会会議室 参加者6名  
電子プロシーディングセッションの構成検討と出版準備(査読・編集、「日本の地すべり防災の対策と施策」の1ページアブストラクトセッションへの変更)
- (2) WLF5 電子プロシーディングセッションにおける地すべり学会提案セッションの企画と話題提供者の提出, プロシーディングの査読と修正
- (3) 電子プロシーディングセッション論文集の編集(2021年4月出版)
- (4) ICL-IPL 会議, 京都地すべりコミットメント2020 提言 (オンライン) 2020年11月2-5日  
学会長, ICL 委員長出席
- (5) WLF5 の広報 (COVID19 による2021年11月開催への延期案内、新規発表形態(1ページアブストラクト発表, 電子ポスター)の案内:学会誌, パンフレット, HP 掲載)

## 9. 会員数対策

### (1) 若手対策 WG

#### ◆WG 打合せ

- ・2020年7月17日(Web開催) 過年度までの取組内容の共有、今後の方向性の検討
- ・2020年10月5日(Web開催) 現状の課題・具体的な対策案・他部署との連携を検討

#### ◆若手会員向けセミナー(Web開催)

テーマ:「CIMの活用による地すべり対策事業・災害対応の迅速化・効率化」

- ・第1回 2020年11月11日 32名
- ・第2回 2020年11月18日 30名
- ・第3回 2020年11月20日 31名
- ・第4回 2020年12月14日 79名

#### ◆若手対策事業の実施

各支部が主催する行事として実施(各支部報告参照)

### (2) シニア対策 WG

- ・コロナ禍により2020年度活動なし

## 10. 斜面防災技術国際化委員会

成果品原稿に関する推敲部会を以下の日程で計8回開催した。1回の推敲部会は2日間で、それぞれ

れ 10:00～17:00 の時間帯に実施した。各実施日の参加者は 4～6 名であった。

- (1) 第 1 回推敲部会(Web) : 2020 年 6 月 4 日～6 月 5 日
- (2) 第 2 回推敲部会(Web) : 2020 年 7 月 28 日～7 月 29 日
- (3) 第 3 回推敲部会(Web) : 2020 年 8 月 25 日～8 月 26 日
- (4) 第 4 回推敲部会(Web) : 2020 年 9 月 25 日、9 月 28 日
- (5) 第 5 回推敲部会(Web) : 2020 年 10 月 22 日～10 月 23 日
- (6) 第 6 回推敲部会(Web) : 2020 年 12 月 10 日～12 月 11 日
- (7) 第 7 回推敲部会(Web) : 2021 年 1 月 19 日～1 月 20 日
- (8) 第 8 回推敲部会(Web) : 2021 年 3 月 17 日～3 月 18 日

## 11. 学会強靱化特別プロジェクト

### (1) 特別プロジェクト立ち上げ

- ・ 特定費用準備金を活用した学会の強靱化を図るためのプロジェクトを創出する。
- ・ 特別担当担当を設けて作業を進める。
- ・ 2020 年 6 月 12 日理事会にて承認。

### (2) 理事アンケート

- ・ 理事を対象に学会強靱化プロジェクトについて意見収集  
(第 1 回締切 : 2020 年 8 月 31 日、第 2 回締切 : 2020 年 10 月 31 日)
- ・ 6 理事、3 支部、本部 2 部署から回答

### (3) アンケート取りまとめ・報告

- ・ アンケート結果を取りまとめ、プロジェクト候補案(素案)も含め理事会に提出・審議  
2020 年 9 月 15 日 第 1 回締切分アンケート結果報告・審議  
2020 年 11 月 26 日 第 2 回締切分アンケート結果報告・審議

## 12. アウトリーチ

### (1) 報告・審議

- 2020 年 9 月 15 日 第 3 回理事会にて学会アウトリーチ活動の進め方協議
- 2020 年 10 月 9 日 アウトリーチ検討委員会の支部担当の依頼
- 2020 年 12 月 7 日 アウトリーチ検討委員会の支部担当者決定
- 2021 年 3 月 12 日 第 5 回理事会にて 2021 年度アウトリーチ活動の進め方協議

### (2) 情報発信

- フェイスブックによる情報発信\_随時
- 地すべり学会 HP での情報発信

## 13. 北海道支部

### (1) 総会

- ・ 電子メールによる審議
- ・ 審議の日程

配信：2020年4月24日

結果の確定・公開：2020年5月29日

・投票者：41名(承認41名、否認：0名)

(2) 研究発表会

- ・日 時：2021年1月22日
- ・オンライン開催
- ・参加者：122名(道内：80名、道外：42名)
- ・研究発表 計5件
- ・特別講演：2件

「東北日本における氷期の斜面地形形成と近年の土砂動態」

(日本工営株式会社国土基盤整備事業本部国土保全事業部 檜垣大助 氏)

「空から見た全国の地すべり・変動地形(活断層を含む)」

(山形大学 地域教育文化学部 地域教育文化学科 八木浩司 教授)

(3) 第1回運営委員会

- ・日 時：2020年7月13日
- ・オンライン開催
- ・参加者：27名
- ・会議内容：2020年度事業計画・実施状況、予算、会員状況、本部動向、その他(第60回北海道大会に向けて)

(4) 第2回運営委員会

- ・日 時：2021年3月9日
- ・オンライン開催
- ・参加者：27名
- ・会議内容：2020年度事業報告・決算見込み報告、2021年度 事業計画・予算(案) 本部動向、その他(第60回北海道大会に向けて)

(5) 学会連絡会

新型コロナウイルスの影響により、対面およびオンラインでの会議は実施しなかった。ただし、8月、11月、2月に各学会支部の行事を集約し、支部会員に5学会支部の行事予定をMLで報告した。

(6) 巡検部活動

当初現地見学会の開催を計画していたが、新型コロナウイルスの影響により中止した。

(7) 広報部活動

研究発表会予稿集編集(4月)、ホームページ運営、各種広報活動(通年)

(8) 技術普及部活動

技術講習会の開催を計画していたが、新型コロナウイルスの影響により中止した。

(9) シニア会の活動

新型コロナウイルスの影響により活動を行えなかった。

(10) 若手の会の活動

新型コロナウイルスの影響により活動を行えなかった。

(11) 対外(北海道地すべり学会)協力

① 普及活動

新型コロナウイルスの影響により活動を行えなかった。

② 研究調査委員会

- ・日 時：2021年3月16日
- ・オンライン開催
- ・参加者：48名
- ・話題提供：「令和2年7月九州豪雨の災害について」 池見洋明 氏（日本文理大学）
- ・テーマ調査研究：
  - 「北海道胆振東部地震におけるテフラ層すべり及び岩盤すべりの課題」  
雨宮 和夫氏（防災地質工業）
  - 「2月の福島県沖を震源とする地震によるテフラ層すべり：二本松市サーキット場の斜面」  
石丸 聡氏ほか（エネルギー・環境・地質研究所）

### ③技術委員会

#### 第1回技術委員会

- ・日 時：2020年9月18日
- ・参加者：11名
- ・場 所：株式会社シビテック 4F 会議室(札幌市)
- ・内 容：地すべりに関するアンケート調査の議論

## 14. 東北支部

### (1) 支部総会 コロナウイルス感染予防のためオンライン開催

\*定足数 85 名(会員数 169 名の 1/2 以上)を満たし総会は成立

- ① 日 時 2020年5月15日 16:00～17:30
- ② 場 所 東北支部事務局 会議室
- ③ 参加者 リモート参加8名・委任状80名 計88名
- ④ 議 事
  - 第一号議案 2019年度年度事業報告
  - 第二号議案 2019年度収支決算報告及び監査報告
  - 第三号議案 2020年度事業計画（案）
  - 第四号議案 2020年度収支予算（案）
  - 第五号議案 役員改選の件（案）
  - その他・報告事項

※シンポジウム・意見交換会 コロナウイルス感染予防のため中止

### (2) 会議等

#### ① 役員会

- ・第1回役員会（2020年4月1日 東北支部事務局会議室・リモート 8名）  
2020年度総会議案書(案)及び事業計画・予算案等に関する協議
- ・第2回役員会（2020年11月6日 東北支部事務局会議室・リモート 8名）  
今後の事業計画及びアウトリーチ連絡会担当、会員数対策担当の人選、  
砂防学会東北支部との連携に関する協議ほか
- ・第3回役員会（2021年3月8日 東北支部事務局会議室・リモート 20名）  
2020年度事業報告・収支決算(案)、2021年度事業計画・予算(案)ほかに関する協議

#### ② 幹事会

- ・第1回幹事会（2020年6月18日 東北支部会議室・リモート 14名）  
シンポジウム及びコロキウムの開催計画、その他支部事業に関する協議



・第2回幹事会（2021年3月8日 東北支部事務局会議室・リモート 20名）

2021年度シンポジウム・コロキウム研修会、地すべり現地検討会開催に関する協議

③ 運営委員会（2021年3月27日 メールによる議案書（案）の送付）

2020年度事業報告及び決算（案）及び2021年度事業計画及び予算（案）の審議

(3) 支部ワーキンググループ「斜面変動研究の次世代コロキウム」

○趣旨 支部若手会員の技術的交流の場として分科会活動を継続、拡大し、学会等での発表や投稿を視野に地すべり調査における技術の伝承を図るとともに、支部の会勢拡大に繋げる目的で開催した。

\*今年度は集合形式での開催を避け、オンライン研修として行った。

○第1回研修会：2020年9月16日

支部シンポジウムを兼ねオンライン開催 参加96名（CPD3.5）

テーマ：「地すべりに関する地下水の関与について」

基調講演：「地すべり指標としての地下水水質の可能性」

九州大学名誉教授 吉村 和久 氏

話題提供：「水質に基づく地すべり地への地下水供給機構の検討事例（PHREEQC活用例）」

（同）水文企画 渡邊 修 氏

「スメクタイトの生成場と地すべり」

国土防災技術(株) 柴崎 達也 氏

○第2回研修会：2020年12月22日 オンライン研修として開催 参加106名（CPD2.5）

話題提供：「2019年台風19号による宮城県丸森町における斜面崩壊発生場の分布特性」

奥山ボーリング(株) 林 一成 氏

「タンクモデルと質点系ダンパーモデルを用いた

コスタネック地すべりの長期移動予測解析」

(株)アドバンテクノロジー 濱崎英作 氏

「New-SlopeRBSM3Dによる銅山川地すべりの移動方向解析」

国土防災技術(株) 高橋康平 氏

「空中写真判読技術は終わった技術か？」

山形大学 八木浩司 氏

○第3回研修会：2021年2月22日 オンライン研修として開催 参加118名（CPD2.5）

話題提供：「高密度電気探査を用いた津軽十二湖成因の検証：青池付近を例として」

弘前大学農学生命科学部助教 鄒 青穎 氏

「樹木年輪年代学的手法による地すべり変動履歴の検討

－白神山地大川流域における地すべり地を対象として」

北海道大学 野口絹子 氏

「攻撃斜面における地すべりの活動要因

－秋田県小湊地すべり及び崩ヶ沢地すべりを主な事例として」

奥山ボーリング株式会社 高堂陶子 氏

「長野県長久保地すべりの硬質炭酸カルシウムスケールの観察」

国土防災技術株式会社 神野郁美 氏

(4) 東北支部地すべり現地検討会

\*コロナウイルス感染予防の観点から中止した。

\*予定していた秋田県由利本荘市「崩ヶ沢地すべり」で2021年度に開催する。

(5) 災害派遣調査

2021年2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震を誘因とし二本松市で発生した地す

べり災害に対して、北海道支部及び関東支部と合同で現地調査を行った。東北支部からは八木浩司前支部長ほか5名が参加した。

#### (6) 広報活動等

##### ① 講師派遣

・秋田県建設部主催「測量実習及び調査・設計研修会」(2020年7月15～16日)

奥山ボーリング(株) 藤井 登氏、大村 泰氏

・宮城県砂防ボランティア協会主催研修会(2020年11月20日)

(株) 復建技術コンサルタント 押見和義氏

② 支部だより第31号の発行(2020年12月20日) 印刷部数245部、発送部数245部

③ 支部ホームページの更新、情報発信

・各種事業案内・参加募集、委員会活動報告、支部行事等の掲載など

#### (7) 関連団体との連携・地域貢献

① 「2019年台風第19号災害に関する東北学術調査団」への参画

・(公社)土木学会東北支部、(公社)地盤工学会東北支部、東北大学災害科学国際研究所

・最終報告会(オンライン開催、2020年11月20日)において大河原支部長が報告

② (一社)斜面防災対策技術協会

・地すべり防止工事士更新講習会講師 大河原支部長

・機関紙「山が動く」への投稿 濱崎英作氏、林 一成氏

## 15. 新潟支部

#### (1) 2020年度支部総会

・開催日：2020年5月22日

・場 所：新潟大学災害・復興科学研究所

・主席者：支部長、幹事長、ほか41名(委任状提出者)の計43名

コロナ禍のため集会形式の支部総会を中止し、委任状による議決をもって支部総会に代えた  
支部会員には支部ホームページに総会議案書を掲載し、委任状の提出を求めた

#### (2) 新潟県地すべり災害記録CD改訂版の出版

2020年5月22日、2020年版を出版(2019年に発生した地すべり災害記録を追加)

#### (3) 新潟支部ホームページの管理・運営

支部の活動、行事、出版物等の情報を発信

#### (4) 新潟県地すべり対策研究会への参加

2020年11月12日、技術部会(Webにて開催)、支部から4名参加

2021年3月10日、総会(Webにて開催)、支部から3名参加

2021年3月5日、災害対策部会、糸魚川市来海沢地区の地すべり災害調査、支部から2名参加  
2021年3月25日、災害対策部会、糸魚川市来海沢地区の地すべり災害調査および応急対策の視察、支部から2名参加

#### (5) 会議記録

今年度は幹事会としての会議は開催していない

必要に応じて幹事にメーリングリストで情報提供・意見交換した

## 16. 関東支部

### (1) 総会

2020年5月8日 11:00～12:00

群馬会館（群馬県）

出席者数3名 委任状数86名 決議書提出者15名 計104名（定足数94名以上）

### (2) シンポジウム

コロナウィルス感染症対策のため開催中止、論文集発行)

「令和元年台風第19号による斜面災害」

- ・群馬県の山地災害の概要 長谷川 博（群馬県森林保全課）
- ・神奈川県内の山地災害の分布・対応状況 安松 慶直（神奈川県森林再生課）
- ・群馬県内匠（たくみ）地区の斜面崩壊 若井 明彦（群馬大学）
- ・群馬県西毛（せいもう）地区の地すべり 小林 豊（日本サーベイ）
- ・神奈川県相模原市緑区牧野（まぎの）地区の斜面崩壊における捜索救助活動  
ー現場の実態と科学技術の役割ー 新井場公德（消防庁消防研究センター）
- ・論文集発行・配布、Web掲載

### (3) 技術講習会

#### ① 防災対策講演会（斜面協会との共催事業）

開催中止：2020年9月15日、山梨県立図書館「火山としての富士山とその災害」

#### ② 第1回基礎技術講習会（若手対策）

「最近の地すべりボーリング技術」（集合形式講習会）

2020年10月20日

貸会議室24大宮小会議室（埼玉県）

講師：阿部真郎（奥山ボーリング株式会社）

参加者：17名（非会員5名）

#### ③ 第2回基礎技術講習会（若手対策）

「最近の地すべりボーリング技術」（オンライン講習会）

2020年11月26日

形式：録画配信+Zoomによるオンライン講習会

講師：阿部真郎（奥山ボーリング株式会社）

参加者：15名（非会員5名）

### (4) 運営委員会・幹事会

新型コロナウイルス感染症拡大にともない会議中止・メール審議

その後オンライン会議に移行

#### ① 運営委員会

- ・第1回 2021年1月22日 オンライン会議 出席者17名

#### ② 幹事会

- ・第1回 2020年12月25日 オンライン会議 出席者10名
- ・第2回 2021年3月26日 オンライン会議 出席者10名

### (5) 広報活動等

- ・関東支部 Web ページ更新

### (6) 2020年度研究発表会（山梨大会）の対応

4～11月、現地開催中止・講演集発行、事後処理の対応

## 17. 中部支部

### (1) 支部総会

2020年4月17日

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、集会による決議を行わず委任状にて開催
- ・委任状提出者：106名

なお、例年総会時に開催している支部運営委員会は、新型コロナ感染症対策のため中止した。

### (2) 災害調査団派遣

2020年11月20日

- ・場 所：長野県大町市八坂地すべり災害現場
- ・参加者：4名(堤大三 支部長ほか3名)

### (3) オンラインセミナー

2020年11月26日

- ・場 所：オンライン(長野県飯田市と三重県津市の2会場より配信)
- ・講演 1：学際的に考える洪水―「戊の満水」と2019年19号台風―  
飯田市美術博物館専門研究員 青木 隆幸 氏  
(前長野県立歴史館学芸部長 長野県立歴史館名誉学芸員)
- ・講演 2：表層崩壊予測のための物理モデルの開発  
三重大学大学院 教授 堤 大三 氏  
(生物資源学研究科 資源循環学専攻 森林資源環境学講座)
- ・参加者：72名

### (4) リモート現地見学会

2020年12月11日

- ・場 所：オンライン(長野県長野市の2会場と三重県津市の計3会場より配信)
- ・講演 1：長野県の砂防行政  
長野県建設部砂防課 課長 藤本 濟 氏
- ・講演 2：沓掛地区地すべり災害の概要  
長野県上田建設事務所 小宮山 直樹 氏
- ・講演 3：沓掛地区の地すべり発生機構と対策工法の選定  
北陽建設株式会社 廣瀬 一聖 氏
- ・ロケ動画：「沓掛地区の地すべり(30分)」
- ・参加者：78名

### (5) 中部支部ニュース発行

2021年3月31日

### (6) 幹事会

- 2020年4月10日：長野県長野市ホテル国際21(出席者15名)
- 2020年8月28日：長野市生涯学習センター(出席者16名)
- 2020年10月2日：オンライン(出席者4名 ※企画系会議)
- 2020年10月21日：オンライン(出席者17名 ※臨時幹事会)
- 2021年1月8日：オンライン(出席者20名)

## 18. 関西支部

(1) 第 1 回運営委員会

- ①日時：2020 年 4 月 3 日
- ②場所：Zoom によるオンライン開催
- ③ 出席者：13 名 委任状：7 名
- ④ 議事：
  - ・報 告  
2019 年度第 2 回運営委員会議事録、2019 年度支部事業報告(案)、2019 年度行事関係会計報告(案)、会誌「らんどすらいど」No. 35、協賛会員名簿、2019 年度支部決算報告(案)
  - ・議 題  
2020 年度事業計画(案)、2020 年度予算計画(案)

(2) 関西支部 総会

- ①日時：2020 年 4 月 6 日～4 月 16 日
- ②場所：メール審議
- ④ 議事  
報 告  
2019 年度活動報告、2019 年度決算報告、2020 年度活動計画、2020 年度予算

(3) 第 2 回運営委員会

- ①日時：2020 年 11 月 6 日
- ②場所：Zoom によるオンライン開催
- ③ 出席者：17 名 委任状 1 名
- ⑤ 議事
  - ・報 告  
2020 年度第 1 回運営委員会議事録、2020 年度支部事業報告、2020 年度今後の事業予定  
2020 年度災害調査団候補者について、2021-2022 年度支部運営委員選挙について
  - ・議 題  
2021 年度支部行事について

(4) 「らんどすらいど 36」会誌の発行・発送

- ①日時：2021 年 2 月 5 日
- ②執筆者とタイトル  
平成 30 年 7 月豪雨による広島県の地すべり災害  
中井真司・渡邊聡・小井戸一浩（復建調査設計株式会社）  
CIM 時代の 3 次元安定解析手法  
美馬健二・川浪聖志・太田英将（有限会社太田ジオリサーチ）  
平成 30 年大阪府北部の地震における高槻市内および枚方市内の斜面災害調査  
土井一生・釜井俊孝（京都大学防災研究所）・東良慶（大阪工業大学）・  
王功輝（京都大学防災研究所）  
編集後記  
松浦純生（京都大学防災研究所）

## 19. 九州支部

(1) 支部幹事会

- ・開催日：2020年4月21日～6月3日（電磁的方法（電子メール会議）による）
- ・参加者：52名
- (2) 支部総会
  - ・開催日：2020年6月8日～6月30日（電磁的方法（Web会議）による）
  - ・参加者：58名
- (3) 支部学術講演会（鹿児島大会）
  - ・開催日：中止
- (4) 支部現地見学会
  - ・開催日：中止
- (5) 支部技術検討会（沖縄）
  - ・開催日：中止
- (6) 共催事業
  - 2020年度 現場見学会(第12回)
    - ・共催：(一社)斜面防災対策技術協会九州支部、九州地区地すべり防止工事士会
    - ・開催日：中止

以上

## 事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特にないため、附属明細書は作成しない。